

定期発行物「安全安心社会研究」



【創刊号】2011年3月発行

2011年3月創刊。

ISSN : 2186 - 5582

安全安心社会研究センターの活動とその成果を内外に紹介するとともに安全安心社会に関する学内、学外の研究者間での研究成果や情報共有を図るプラットフォームとしての役割を果たすことを意図して発行。

創刊号：労働災害、火災・爆発、製品事故をはじめとする各種の事故に加え、口蹄疫、食の安全、自然災害への対応など、幅広い安全問題をテーマとして取り上げました。また、社会的な関心の高いテーマから、やや論理的な古典再読、統計データ解説など、幅広い読者を対象として編集しています。

【目次】

「安全安心社会研究」創刊にあたって

事故分析と論評

ミキサー誤起動による作業員死亡事故、余部鉄橋回送列車転落事故、ハイテク立体倉庫火災、医療用ガスの取違え事故、ヒーローは誰か、ジェットコースター脱線事故、大型重機の安全確保に向けて、ロンドンでの列車衝突事故、東京温泉施設ガス爆発事故、道路を走る危険物～タンクローリー事故、充てん作業中のスキューパー用アルミ合金製容器の破裂事故、新潟県中越沖地震の教訓と企業活動における事業継続マネジメント(BCM)のあり方、製麺機の事故例に学ぶ安全確認の原則に基づく設計、発電機用ローターの試運転における破損事故、化学プラントの大規模火災、人工呼吸器チューブへのコネクタ誤接続事故、グローバルな安全とは？、ボイラー破裂事故の経験に学ぶ、重機と自然は共生できるか？、湘南モノレール衝突事故、船倉における酸欠事故、120年前の2つの火災と電気安全、風力発電用風車の倒壊事故、地下送電線の爆発事故

口蹄疫と安全安心社会

大自然災害時にも安全安心な社会を求めて

ー災害診療支援システムの研究ー

長期統計でみる日本社会の安全

H・W・ハインリッヒの「産業災害防止論」

カール・ウィーバー編「フード・インク～

「工場型」農業のもたらす疾病、肥満、貧困が増えている

私が見たアメリカの安全

長岡技術科学大学 安全安心社会研究センター

長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

Research Center for Safe and Secure Society
安全安心社会研究センター

トップ(News) メンバー 研究論文・記事 エッセイ プロジェクト

FrontPage

トップ(News) NEWS

About Us

談話の趣旨
具体的事業
予定事業
検索

検索
AND OR

メンバー

専門職大学院専任教員
専門職大学院兼教員
非常勤教員
特任講師
客員研究員

研究論文・記事

研究論文
記事
「安全と健康」連載記事

エッセイ

プロジェクト

News

【第5回 長岡技術科学大学・明治大学共催システム安全特別講演会】

日時：平成23年12月29日 13:00～17:00
場所：東京国際フォーラム（東京駅の近く）G510号室 スクール形式 63席（最大81席）
主催：長岡技術科学大学 安全安心社会研究センター
：明治大学 新領域創造専攻安全学系
：長岡技術科学大学 安全パラダイム指向コース
：長岡技術科学大学 システム安全委員会

注：関係者のみ対象の講演会ですが、席数に余裕がある場合には、本学教育プログラムに特に
ご関心のある方はご参加いただけます。本学センター関係者にお問い合わせください。

【プログラム】
13:00-13:15 開場、登録受付
13:15-13:30 開会／主催者挨拶（技大、明大）

第1部 産業安全運動百周年
13:30-14:30
講師：杉本雄先生、明治大学新領域創造専攻安全学系教授
演題：「安全の真髄～世界に通用する安全の技術規格を作る～」(講演資料-pps)

第2部 ソフトウェアの安全
14:30-15:05 講演1
講師：平尾裕司先生、長岡技術科学大学システム安全系教授
演題：「安全システムとソフトウェア」(講演資料-pdf)
概要：コンピュータ制御による安全システムが社会に浸透するにつれ、ソフトウェアの重要性が
再認識されている。安全システムのためのソフトウェアの要件と課題、IEC 61508などの機能安
全規格のソフトウェア要求事項と問題点について概説する。

安全安心社会研究センターホームページ

安全安心社会構築のための様々なテーマを取り上げた講演会案内などの情報をご覧いただけます。

その他、メンバー紹介や学内外のスタッフ・有識者からの記事や論文を掲載。今後更に、論評・分析・政策提言等の情報を提供できるよう内容を充実させていく予定です。

長岡技術科学大学 安全安心社会研究センター
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
Tel:0258-47-9754(直)
<http://safety.nagaokaut.ac.jp/~safety/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology



Research Center for Safe and Secure Society

安全安心社会研究センター

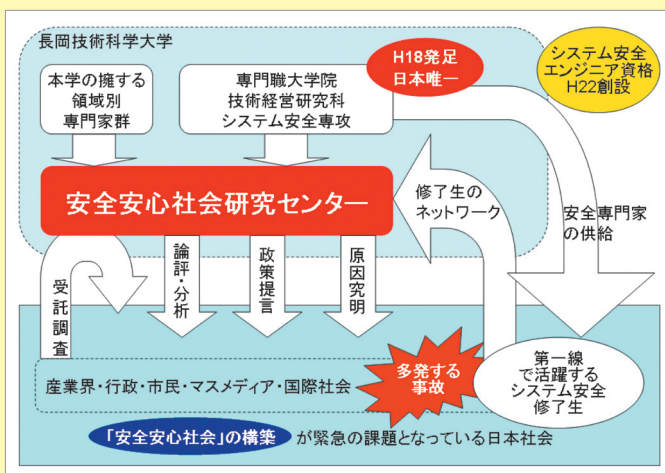
2012

安全安心社会研究センターについて

長岡技術科学大学は、2006 年 4 月、専門職大学院として、技術経営研究科システム安全専攻を創設しました。同専攻は、国際的なシステム安全の諸原則に基づく専門家育成プログラムとして、日本で初めて、かつ唯一の存在であり、また、2008 年 3 月には教育プログラムが完成年度を迎え、システム安全専門家の第一世代を社会に輩出することになりました。

この機をとらえ、システム安全の専門家集団としての教員団の知見と社会の第一線で活躍する修了生を中心とする人的ネットワークを生かして、製品や施設で発生する事故や安全管理に関する第三者専門家の立場からのタイムリーな論評・分析、安全安心社会構築のための政策提言等の情報発信を行うとともに、幅広い調査研究を行う組織として、2008 年 4 月 1 日に、「安全安心社会研究センター」を設置しました。具体的事業として、以下の事業を行うこととしています。

- (1) 事故に関する調査分析とその結果の公表
- (2) 安全安心社会の構築のための調査研究事業
- (3) 安全安心社会の構築のための啓発、社会人教育事業
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な業務



長岡技術科学大学における安全安心社会の構築に向けた取り組み

年	本学の動き	社会全体の動き
2001 (H13)	機械安全工学寄附講座	3 月 平成 13 - 17 年度科学技術基本計画の理念として「安心・安全で質の高い生活のできる国」 5 月 厚生労働省より「機械の包括的な安全基準に関する指針」
2002 (H14)	4 月 大学院機械創造工学専攻に「機械安全コース」	
2003 (H15)		5 月 専門職大学院設置基準 機械安全の基本国際規格 ISO12100（機械類の安全性－設計のための基本概念、一般原則）発行 食品安全基本法公布（7 月施行）
2004 (H16)	3 月 機械安全コース第一期生修了	4 月 文科省 安全・安心な社会の構築に資する科学技術政策に関する懇談会報告書 7 月 新潟・福島豪雨 10 月 新潟県中越地震 12 月 ISO12100 に基づき JIS B 9700 制定
2005 (H17)		安衛法改正、リスク評価義務化（翌 4 月施行）
2006 (H18)	1 月 中越地震調査報告会 4 月 専門職大学院システム安全専攻創設	技術経営関係専門職大学院10校によりMOT協議会発足 消費生活用製品安全法改正
2007 (H19)	10 月 新潟中越沖地震震災復興シンポジウム	5 月 重大事故報告制度運用開始 7 月 新潟県中越沖地震
2008 (H20)	3 月 システム安全専攻第一期生修了 4 月 安全安心社会研究センター発足 4 月 博士後期課程情報・制御工学専攻に「安全工学コース」 7 月 新潟中越沖地震一周年震災復興シンポジウム	
2009 (H21)	9 月 本センターに客員研究員制度	9 月 消費者被害を防ぐため、食品や製品の事故、クレームなどの情報を一元化した消費者庁発足
2010 (H22)	3 月 システム安全エンジニア認定委員会（向殿征男委員長）との協力により「システム安全エンジニア資格制度」を創設、第一回試験を実施	
2011 (H23)	3 月 「安全安心社会研究」創刊 4 月 大学院博士課程に「安全パラダイム指向コース」	3 月 東日本太平洋沖地震 東京電力福島第一原発で事故発生 7 月 新潟・福島豪雨
2012 (H24)	3 月 「安全安心社会研究」第 2 号発行 4 月 大学院修士課程原子力システム安全工学専攻	